

今年度も五ヶ月が過ぎようとしていますが、天候の激変に振り回される毎日が続いている現状、雨が降れば大雨による洪水、また海水温の上昇により台風が多発するなど、気が休まる暇も有りません「本当に秋の稔はどうなるの?」と心配になります。なんとか二週間遅れで、その種蒔を終えることが出来ましたが、これも心配の種の一つになっています。秋の終わりを告げる一大イベント「太曲に花火」も間近に迫った今日、台風10号の影響を受けないで成功してくれればと願っています。しかし暗い話ばかりでないように、今年はこのところ「さんまが豊漁」との報道がありました、いよいよ待ちに待った稔の秋の到来です。三十九度超えの毎日で果物などの収穫時期が十日程早まっていると聞いています。農家の皆さんの苦勞も計り知れない程ではとお察し申し上げます。そのお陰で、新米の収穫が早まり、米不足の解消につながるこのニュースが流れていました。ただ疑問に思うのは、米の生産国である日本の農業に対する管理体制はどうなっているのだろうか・・・農業に限らず災害の復興についても同様です。パワハラをやっている場合ではないのでは・・・

マイナビ「あひる顔?」

令和6年8月11日 6:46頃



今日は快晴!!久しぶりにシャッターチャンス到来です!!穂が付いた稲の海をつき進む高速艇のような「こまち」の姿は、如何でしょうか?今まで、天気には本当に泣かされてきました。少し残念なことに鳥海山が傘を被っていることです「朝てっかりの嬉泣かせ」!!これから雨模様となるのかなと思いつつながらシャッターを切っていました。最近の一日の天候の激変も驚くばかりですが、ついていくのがやっとの人の生活ではないでしょうか。

9月の交流サロン

9月22日(日)

「であいの花」作り

午前10時~午後3時迄

秋田市で開催される

「であいのこんさあと」で提供される鉢に添えます。

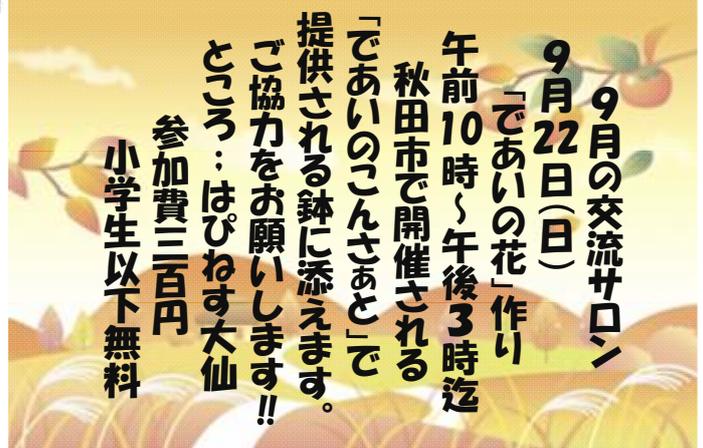
「ご協力をお願いします!!」

参加費二百円

小学生以下無料

今日の「交流サロン」から

今月は、アキタパートナーシップより千田さんと福島県から移り秋田市に居住している林さんを来客に向かえ開催することが出来ました。時に新たな風が吹くのも刺激になって良かったと感じています。さて、大仙フレンズの活動も十二月からの展示や「であいのこんさあと」で使用する「であいの花」作りと尻に火が付き始めてきました!!毎年のことなのでわかって居る筈ですがなかなか思い通りにはならないです。それで



も、当会だけで小さくまとまることなく、いろいろな他の団体さんとも手つなぎ合って行きましようと言うことを目標として頑張っています。いろいろな事情を抱えている方々も参加して是非心を開放できるような会に進歩して行くことも願っています。

【本日のメニュー】

※主菜：焼野菜(ねぎ・茄子・鶏肉) 出汁のつけうどん ※副菜：山形風だし(夏野菜たっぷり)・青梗菜と海老帆立の醤油バター炒め 今回は、夏野菜を消費するにはどうしたら良いかとお悩みの皆さんのヒントになればと思います。山形風だしには、胡瓜・茄子・茗荷・大葉・生姜などを粗みじんにして納豆昆布を加え醤油・味醂・酢で調味していますお好みで七味。他にオクラや長芋なども合いそうです。



折り紙をやっている様子です!!



本日の定食「つけ汁うどん」!!

東日本大震災による避難者を

支援する秋田県南連絡協議会

発行 「大仙フレンズ」 担当 高橋 和美

連絡先 〇九〇一九六七〇二八五二